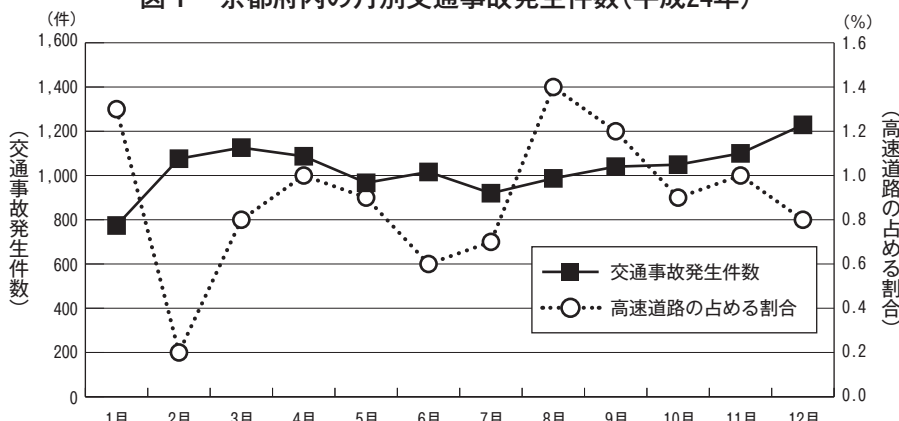


## 安全運転で、年末年始を！

平成 25 年春に京都第二外環状道路が開通し、高速道路を利用した北部から南部へあるいは南部から北部への移動時間がさらに短縮されました。年末年始の帰省の際、あるいはご旅行で高速道路を利用される方もいらっしゃると思います。今月は、帰省や旅行の前に一度見てほしい交通事故に関する調査結果をご紹介します。

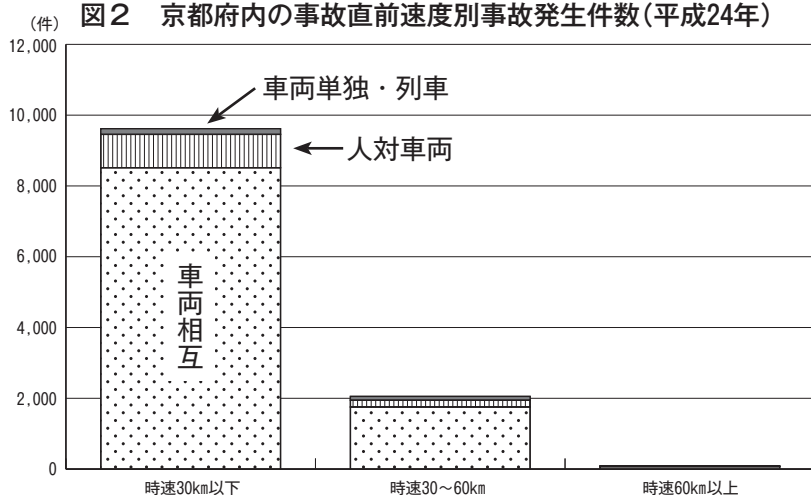
図 1 は、平成 24 年の 1 月～12 月の京都府内で発生した交通事故件数を示しています。これをみると、12 月が最も多く 1,229 件となっています。ついで、3 月が 1,126 件となっています。このうち、全体に占める高速道路の割合を見ると 12 月、3 月共に 0.8% となっています。高速道路での交通事故は全体に対して低い割合となっています。では、どのような速度で事故が多く発生しているのでしょうか。

図 1 京都府内の月別交通事故発生件数(平成24年)



(出典：京都府警察本部『平成24年交通統計』)

図 2 京都府内の事故直前速度別事故発生件数(平成24年)



(出典：京都府警察本部『平成24年交通統計』)

注：平成24年計の12,371件から、自転車、歩行者、不明の610件を除いた結果を掲載

図 2 に事故発生直前の走行速度別に見た発生件数を示しています。これを見ると時速 30km 以下で発生した件数が 9,617 件と圧倒的に多くなっています。そのうち、車両同士の事故である車両相互が 8,516 件となっています。これらから比較的低速で、車両同士の事故が多い現状がわかります。

年末年始は、家族や友達で何かと出かける機会が増え、気がゆるむ時期でもありますが、運転する際には、しっかりと気を引き締めて、よい年をお迎え下さい。